

■ 令和7年度 砂川中学校 各部活動における地域移行実証事業等進捗状況(R7.9現在)

部活動名		実証事業 指導員数	地域移行実証事業進捗状況及び現況
1	野球部 (男子部のみ)	—	野球の地域移行実証事業の受入を可としていた団体はあったものの、令和7年度中体連を終えた後の1・2年生の部員が9名を下回る予定であったことなどを踏まえ、野球部顧問より2回にわたり保護者会を開き協議した結果、令和7年度中体連まで部活動として活動し、中体連後の1・2年生については、3年生と共に引退や他部活動への転籍、実証事業を引き受け可としていた指導員によって新たに創設される地域野球クラブ等への所属などを自由に選択していくこととし、「平日も含めた地域の受け皿となれるクラブが新たに創設された」ことに伴い、令和8年度より募集停止とする予定となった。 しかし、新年度に入って新一年生の入部が6名あり、現2年生3名と併せて9名となったことから、3年生卒業後も野球部として活動中。 今後は、1・2学年で9名以上在籍する場合は部活動として存続するが、9人を下回った時点で次年度の募集を停止を検討する。地域展開についても、所属人数や地域スポーツクラブの動向を見ながら、令和13年度までに検討していくこととなった。
2	ソフトテニス	9	令和7年5月より実証事業を開始。指導員登録は9名、うち1名が有償ボランティアとして、市内小学校教員が兼職兼業の指導員となっており、当該指導員は平日の部活指導も行っている(平日も有償ボランティア)。 今後は、指導員のみで休日の部活動指導を試験的に行っていくなど、更に顧問教諭の負担軽減と部活動の休日地域展開の実現を目指し、徐々に取り進めていく予定。
3	バレーボール部 (女子部のみ)	4	令和6年12月より実証事業を開始。バレーボール部の地域移行実証事業指導員は現在4名。月1回以上で、可能な限り複数人の指導員出席のもと、バレー部顧問教諭とともに実証事業として指導を行っている。
4	陸上	4	令和7年4月より実証事業を開始。陸上の実証事業指導員は現在4名おり、不定期の土・日祝日に指導。 また、既に地域指導員のみでの指導日(休日の練習日)を試験的に実施し、顧問教諭の完全休養日を設けることで教員の負担軽減に繋がっているほか、砂川高校陸上部と合同で部活動を実施するなど、新たな取り組みも行っている。
5	バドミントン	3	令和6年11月より実証事業を開始。バドミントンの実証事業指導員は現在3名。 開始来、可能な限り土曜日の実証事業を行っており、令和7年度には指導員が対応可能な日に平日の実証事業も行っている。 今後は、指導員のみで休日の部活動指導を試験的に行っていくなど、更に顧問教諭の負担軽減と部活動の休日地域展開の実現を目指し、徐々に取り進めていく予定。
6	バスケットボール	—	現状は実証事業を開始できていないが、時期は未定ながら地元バスケット連盟の協力により、実証事業を開始することを検討中である。 バスケットボールを取り巻く状況としては、小学生のミニバスも有り、その指導は令和6年度まで砂川小学校の教諭が行っていたところ、令和6年度をもって顧問を務めていた教諭が他市町に異動となり、後任の確保にも苦慮していたが、令和7年度当初により指導員を確保できたといった状況となっており、指導員の確保は容易ではない状況ではある。
7	卓球	—	砂川市に卓球連盟や協会等が無いことから、検討協議会に卓球部門の委員はおらず、実証事業も進んでいない状況である。 令和6年度末時点では、1年生(令和7年度における2年生)が1名と野球部と同じく、新1年生の入部状況によっては、中体連をもって引退する3年生が抜けた後、人数が非常に少なくなることも予想されたため、令和8年度からの卓球部の部員募集を停止することも検討されたが、1年生が多く入部した(計8名)ことにより、当面部は存続することとなった。 卓球部も野球部と同じく所属人数(場合によっては募集停止を検討することになる)や地域スポーツクラブの動向を見ながら進めていくこととなるが、上記のとおり連盟等がなく指導員候補がいらないため新年度より公募し、指導員を確保していくことと致したい。
8	吹奏楽	—	吹奏楽部の実証事業に向けて現状は、地域指導員が見つかっておらず、実証事業の目途は立っていない。 令和7年度吹奏楽部への新入部状況も8人と毎年一定数の入部のある部であり、地域移行(展開)へ向けては、地域指導員の確保が課題であり、卓球と同じく公募していくことと致したい。
9	科学	—	元々土日の活動は無く、平日のみの部活動。 このことから、実証事業を取り進めてはきていないが、現在の活動状況等を鑑み、令和8年度より部員募集の停止とする予定。
10	美術	—	元々土日の活動は無く、平日のみの部活動。 このことから、実証事業を取り進めてはきていないが、今後平日の地域移行(展開)を進めていくに当たっては、指導員の確保等が必要となる。